

八幡シネマ

5月6日
(火・祝)

それがし、「斬られ役」にござる。

日本アカデミー賞2025
優秀作品賞・優秀監督賞
受賞

侍タイムスリッパ

山口馬木也 富家ノリマサ 沙倉ゆうの

峰蘭太郎 庄野崎謙 紅 萬子 福田善晴 井上 肇 安藤彰則 田村ツトム 多賀勝一 吹上タツヒロ 佐渡山順久

Rene 柴田善行 きらく尚賢 ムラサシ 神原弘之 五馬さとし 田井克幸 徳丸新作 泉原 豊 岸原 柊 戸田都康 矢口恭平 吉永真也 橋瀬アキ 佐波太郎 高寺裕司 江村修平 山本拓平 西村裕慶
谷垣宏尚 篠崎雅実 夏守陽平 橋本裕也 大野洋史 山内 良 宮崎恵美子 岩澤俊治 雨音テン 水瀬 望 石川典佳 結月 舞 鈴木ただし 鼓 美佳 浄弘卓磨 清典 枝 尚紀 藤原誠生 吉村崇義 東映京都俳優部
監督/脚本/撮影/編集/安田淳一 殺陣/清家一斗 助監督/高垣博也 沙倉ゆうの 照明/土居欣也 はのひろし 音声/岩瀬 航 江原三郎 松野 泉 床山/川田政史 アクション指導/垣内博賢
特効/前田智広 佃 光 時代衣装/古賀博隆 片山穂江 美術協力/辻野 大 田宮美咲 岡崎真理 制作/清水正子 装身具/高津商会 協力/東映京都撮影所 製作/未来映画社

幕末の侍が時代劇撮影所にタイムスリップ!?

G
124348-A

ART2
ARTS for the Future

俳優 **風間杜夫** あっという間の2時間11分。一気に観た。

色々な時代劇に対するオマージュも込められて、CGを使ったり、ワイヤーで飛んだりとかじゃなくて、昔ながらの立ち回りを基本にした**チャンバラが痛快**。山口馬木也君の朴訥とした田舎侍ぶりが**本物にしか見えない**。富家ノリマサさんがまた良い！侍魂がうまく描かれたとても楽しい娯楽時代劇。

映画監督 **山岸謙太郎**

面白かった!! かつこけずに熱く、分かりやすく、サービス精神満点の映画だった。
子供からお年寄りまで誰にでも勧められる！ 久しぶりに監督が**全財産投げ打って**る熱い映画を観た。

映画大好きツイッターー **papiko** (年間映画鑑賞300本)

タイムスリップものとしても、時代劇ものとしても、映画作り映画としても、完璧に面白い!

上映後は会場が万雷の拍手。今までの舞台挨拶で1番手を叩いちゃいました。

絶対に全国公開すべき大傑作!

映画レビューー **松井俊之**

侍と映画で出来ている京都という珍妙な街で、映画は侍を敬愛し、侍も映画に敬服する。

いつか決別の日がくる。時代も劇もいつか終わる。**刀が重い。**

胸が熱くなるような映画論。映画愛。 背骨を貫く田舎者の一本気。

ずっしりと壮絶な大チャンバラ。大良作。



©未来映画社

STORY

時は幕末、京の夜。会津藩士高坂新左衛門は密命により長州藩士を討つ任を帯びていた。いざ両者が刃を交えた刹那、落雷轟き、新左衛門は現代の時代劇撮影所へとタイムスリップしてしまう。守ろうとした幕府がとうに滅んだと知り愕然とする新左衛門。一度は死を覚悟したものの「我が身を立てられるのはコレのみ」と刀を握り締め、鍛え上げた剣の腕だけを頼りに撮影所の門を叩く。「斬られ役」として生きていくために…。



NOTE

監督は米農家の安田淳一。「自主映画で時代劇を撮る」という無謀に「ホンがオモロイ」と東映京都撮影所が特別協力。10名足らずの自主映画ロケ隊が時代劇の本拠地東映京都で撮影を敢行する前代未聞の事態。すったもんだの半年を経て奇跡的に映画は完成。23年10月の京都国際映画祭でプレミア上映されると、客席からは大きな笑い声。予想の斜め上いく展開に引き込まれ、息をのみ、気が付けば拍手喝采のエンドロール。場内はヤンヤの歓声に包まれた。観客を飽きさせず最後まで楽しませる手練手管。時代劇への愛あるオマージュ。無名監督の作品という前情報を大きく覆す完成度の高さに、SNSでは伝説的作品『カメラを止めるな!』を思わせるという書き込みが続出。2024年夏「聖地」池袋シネマ・ロサでの公開が決定した。



予告編



2025年
5月6日(火・祝)

八幡市文化センター 大ホール

<上映時間> ① 午前10時30分 ② 午後1時30分

<入場料> 前売 1000円(当日1200円) 3歳以上有料

*障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方、介護者1名は100円引きです

●前売券発売中 : 八幡市文化センター/八幡市立生涯学習センター/松花堂庭園・美術館

主催:(公財)やわた市民文化事業団 ☎ 075-971-2111/京都映画センター ☎ 075-256-1707